

輸出事業計画

※申請者名：秋田県加工食品輸出拡大協議会

品目：乾麺、コメ・コメ加工品、冷凍弁当、冷凍味噌漬けきりたんぽ、味噌、醤油、燻り麦酒漬け、日本酒

1. 輸出における現状と課題

【輸出における現状】

- ・ 秋田県は広大な農地に恵まれ、近年の農業産出額の伸び率は全国トップクラスを誇り、それら農畜水産物や豊かな水資源、四季の変化に富んだ自然環境等を背景に、加工食品においても稲庭うどん等の乾麺、味噌、醤油、漬物、日本酒等の優れた産品が生み出され、また産品を生かした駅弁も全国的に有名となっている。
- ・ 現在、和食がユネスコ無形文化遺産に登録され、海外で日本食レストランの数が増加するなど、国内の優れた日本食を世界に発信する機運が高まっており、政府においても「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」において2030年5兆円の輸出額目標が掲げられている。
- ・ そのような中、秋田県内の加工食品を海外へ輸出することは、県産加工食品の魅力を世界中の人に届けると同時に、国内市場の縮小や後継者不足等の課題解決の手段となるものと考えている。
- ・ これまで、県内加工食品メーカーには既に個社単位で輸出取組を行っている、あるいは秋田県と連携した輸出取組を進めているメーカーはいるものの、複数の加工食品メーカーが共同して行う輸出取組（展示会出展、プロモーション事業、共同の物流構築等）は十分に進んでいない。
- ・ このような背景から、複数の県内加工食品メーカーがまとまって輸出取組を行うことで、共同取組によるメリットを生み出し、県内の加工食品を秋田県の魅力と合わせて発信することで、海外マーケットにおける認知度向上と販売機会の創出を図るため、秋田県加工食品輸出拡大協議会を設立するに至った。
- ・ 秋田県加工食品輸出拡大協議会では、海外展示会への出展、海外での試食会実施、多言語化対応の広報物の作成等を予定している。

【輸出における課題】

（1）各国共通

<物流>

- ・ （全品目）間接輸出を行っている会員企業が多く物流コストが大きくなっているとともに、現地で売り先やニーズ・消費者の反応等を情報共有いただけるような信頼できる現地インポーター、ディストリビューターを見つけていないケースがある。

<販売>

- ・ （全品目）秋田県に関して、秋田犬、雪、なまはげ等を通じて海外でも一定の認知はあるものの、いまだ十分な認知度を得られているとはいえず、秋田県産品を効果的に売り出すための、秋田県のプロモーションが必要である。
- ・ （全品目）既に現地に流通している品目については、既存商品との差別化を行う必要がある

（2）米国

<製造・加工>

- ・ （全品目）FSMAを含む規制対応や認証取得に関する知見不足や、英文での書類作成等の手続き面のハードルにより、米国向け輸出に向けたスタートラインに立てていない事業者がいる。

（3）フランス（EU）

<製造・加工>

- ・ （乾麺）動物性原材料を含む食品について独自の輸入規制があり、めんつゆに用いているかつお節が規制対象となっており、日本国内の認定工場のものを用いる必要があるが、認定工場が少なく、またコストも大きくなる。
- ・ （コメ・コメ加工品）グルテンフリーラーメンに使用している添加物についてEU圏内では麺類への使用が規制対象となっており、代替添加物が見つからない。
- ・ （燻り麦酒漬け）取引先から賞味期限の延長を求められており、また大口取引の引き合いもあったが、EUHACCPを取得していないことから見送られたため、これを解消する設備投資が必要となる。

輸出事業計画

※申請者名：秋田県加工食品輸出拡大協議会

品目：乾麺、コメ・コメ加工品、冷凍弁当、冷凍味噌漬けきりたんぽ、味噌、醤油、燻り麦酒漬け、日本酒

2. 輸出事業計画の取組内容

【輸出における課題を解決するための取組内容】

(1) 各国共通

〈製造〉

- （全品目）直接輸出にも着手することでコスト削減に取り組むとともに、輸出連携パートナーやGFP、JETRO等との情報交換を行うことで、信頼できる現地インポーター、ディストリビューターを見つけ連携を進める。

〈販売〉

- （全品目）協議会にて海外の展示会への出展や、試食商談会の開催等を行い、会員企業の秋田県産品を産地・製造ストーリー等と合わせて面々訴求するとともに、秋田県自体の魅力を発信し、県全体のプロモーションにもつなげる。
- （全品目）上記の取組と合わせ、既に現地で流通している品目については特に、産地・製造ストーリー等を掲載した多言語対応HP、デジタルパンフレットを作成し、展示会、試食商談会等に活用することで情報発信を行う。また海外での展示会や試食会で把握したニーズをもとに、会員企業各社でグルテンフリーやオーガニック等の付加価値向上を行い、既存商品との差別化を図る。

(2) 米国

〈製造・加工〉

- （全品目）協議会内で輸出促進のための勉強会を開催し、輸出経験を通じたアドバイスや、専門家を招いた講演を通じて、全体の輸出知識を底上げする。

(3) フランス（EU）

- （乾麺）EU圏に対応すべく稲庭うどん専用ヴィーガンつゆを開発しており、サンプル配布・試食の結果は良好だったため、当該商品の本格展開を行う。
- （コメ・コメ加工品）規制対象となっている添加物について、代替対応を視野に、連携している国内日系商社やGFPと連携した情報収集を行う。
- （いぶりがっこ）賞味期限の延長にむけた包材や保管方法等の検討を実施する。EUHACCPについては、早期の設備投資が難しいことから、認証不要な現地パートナーから取引を始め、長期的には設備投資を行うことを検討する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

【計画の策定(P)】

会員企業及びJETROからの現地情報/規制情報や現地訪問によるニーズ把握に基づき、輸出事業計画を検討

【事業の実施(D)】

計画に基づき、国内・海外での商談会参加、試食会実施等を通じ、輸出を実施

【改善(A)】

上記のフィードバック等を通じて現地消費者の求める商品製造・改善に着手

【評価・検証(C)】

輸出の進捗状況について、商社・JETROや現地訪問で把握した販売状況等の評価・アドバイスを踏まえ、必要に応じて計画を見直し

輸出事業計画

※申請者名：秋田県加工食品輸出拡大協議会

品目：乾麺、コメ・コメ加工品、冷凍弁当、冷凍味噌漬けきりたんぽ、味噌、醤油、燻り麦酒漬け、日本酒

4. 輸出目標額

(全体)

全体		現状 (令和 3 年度)	目標年 (令和8年度)
秋田県	輸出額	7,546.5万円	5億6,893万円
	輸出量	-	-
	輸出先国	米国、香港、フランス 等 (内訳参照)	米国、香港、フランス 等 (内訳参照)

(内訳)

乾麺		現状 (令和 3 年度)	目標年 (令和 8 年度)
秋田県	輸出額	4,500万円	1億500万円
	輸出量	35,370kg	82,300kg
	輸出先国	米国、香港、フランス、 イタリア、インドネシア、 英国 等	米国、香港、フランス、 アイルランド、アイスラ ンド、イタリア、インド ネシア、英国 等

コメ・コメ加工品		現状 (令和 3 年度)	目標年 (令和 8 年度)
秋田県	輸出額	1,071万円	3億8,000万円
	輸出量	14.3t	500t
	輸出先国	香港、台湾、中国、 米国、シンガポール、 スイス、イスラエル	香港、台湾、中国、 米国、シンガポール、 スイス、イスラエル、モ ンゴル、カナダ、豪州、 英国 等

冷凍弁当		現状 (令和 3 年度)	目標年 (令和 8 年度)
秋田県	輸出額	—	2,208万円
	輸出量	—	1,200kg
	輸出先国	—	香港、シンガポール

輸出事業計画

※申請者名：秋田県加工食品輸出拡大協議会

品目：乾麺、コメ・コメ加工品、冷凍弁当、冷凍味噌漬けきりたんぽ、味噌、醤油、燻り麦酒漬け、日本酒

4. 輸出目標額

		現状 (令和3年度)	目標年 (令和8年度)
秋田県	輸出額	—	840万円
	輸出量	—	400kg
	輸出先国	—	香港、シンガポール、 米国

味噌		現状 (令和3年度)	目標年 (令和8年度)
秋田県	輸出額	6万円	170万円
	輸出量	25kg	680kg
	輸出先国	フランス、台湾	フランス、台湾、フィン ランド、香港、ドイツ

醤油		現状 (令和3年度)	目標年 (令和8年度)
秋田県	輸出額	14.5万円	165万円
	輸出量	97L	1,100L
	輸出先国	フランス、カナダ、台 湾	フランス、カナダ、台 湾、香港、ドイツ

燻り麦酒漬け		現状 (令和3年度)	目標年 (令和8年度)
秋田県	輸出額	5万円	800万円
	輸出量	40kg	6,000kg
	輸出先国	フランス	フランス、シンガポー ル、フィンランド、香港、 米国

日本酒		現状 (令和3年度)	目標年 (令和8年度)
秋田県	輸出額	1,950万円	4,210万円
	輸出量	8,299L	18,200L
	輸出先国	米国、英国、トルコ、 韓国、スペイン、台 湾、香港、フランス	米国、英国、トルコ、 韓国、スペイン、台 湾、香港、フランス、 イタリア